

ひだまり

仙台市立山田中学校
2 学年だより
第 4 号
令和 6 年 6 月 2 5 日

いろいろ学んだ中総体

6 月 8 日（土）から 1 0 日（月）にかけて行われた仙台市中学校総合体育大会。2 年生は選手として、あるいは応援者としてその期間を過ごしました。その後、中総体の振り返りを行いました。各々中堅学年らしい感性が備わってきたように感じられました。

（残念ながら 2 日目にサッカー部が敗戦してしまって）3 年生との部活動が終わってしまうことや、今まで応援してくれた人への気持ち、何より負けてしまった悔しい気持ちなどから泣いてしまいました。とても悔しかったです。この気持ちや悔しさをバネにこれからの大会などに向けて頑張っていきたいです。（S. E）

野球の応援には去年も行き、ルールも全く分からないまま応援していましたが、今年は少しだけルールを理解した状態だったので、去年よりも数倍楽しく応援ができました。私は美術部で、選手の方々のように戦うことができないけれど、来年も自分なりに応援したいと思います。（T. A）

私は吹奏楽部として美術部と無所属の人たちと野球部をたくさん応援しました。点数を取れたときはみんなで喜びました。特に一番喜んでいたのは、野球部の保護者の方々でした。その姿を見て、今まで野球部が頑張ってきた姿をずっと見てきたからすごく喜ぶことができたのだと思いました。試合は負けてしまいましたが、相手のチームより山田のチームの方が応援も野球部も諦めずに頑張っていたと私は思いました。（A. S）

私は陸上競技の四種競技という種目で出ましたが、結果は 5 位入賞、県大会出場と決まったのでとてもうれしかったです。特にうれしかったことは、ほとんどの種目で自己ベストを出せたことです。一方で反省点もありましたので、県大会という次の舞台で後悔することがないように、自己ベスト更新を目指しつつしっかりと練習に取り組みたいです。（H. Y）

中総体（バスケットボール部）を振り返って思ったことが三つある。一つ目は自分たち 2 年生の実力の無さだ。試合では 3 年生たちに頼り、ほとんど動くことができなかった。2 年生の代になったら自分たちの力を底上げしなければ勝てないと思った。二つ目は、応援の大切さだ。強いチームほどすごい声が出ていた。これからは声を徹底して出していきたい。三つ目は、3 年生のかっこよさだ。逆点したときなどに雄叫びをあげていて、自分までうれしくなった。その姿がとてもかっこよかった。負けという悔しい結果にはなったけれど、3 年生とここまでやれて、本当に楽しかった。（K. A）

私は陸上部でリレーの他に 1 0 0 m に出場した。試合 3 日目。勝ち残れば入賞というところまで来ていた私は、口から心臓が出るほど緊張していた。準決勝で 4 位という結果に、涙が止まらなかった。両親に会ったときも、決勝へ行けない事実の悔しさと悲しさで涙があふれた。最終的には、決勝へは行けなかったものの県大会へのチケットを手に入れることができた。3 日間の中総体。笑顔あり、涙ありの時間だった。支えてくれた友達、家族にも感謝している。（S. H）